



～今号の内容～
・研究所ピックアップ

研究所ピックアップ

【飛驒牛研究部】

「令和7年度の和牛種雄牛産肉能力直接検定牛を全頭導入しました」

飛驒牛研究部では飛驒牛改良推進事業の中で、飛驒牛の特徴形質に優れる高品質牛肉生産と優良繁殖用後継牛生産のための種雄牛造成を目的とした和牛種雄牛産肉能力検定(直接検定)を実施しており、このたび令和7年度直接検定牛 9 頭の導入が完了しました。造成方針に沿って選抜された基礎雌牛に指定交配を実施し、得られた雄産子の調査により直接検定牛(種雄牛候補牛)が選抜されます。今年度直接検定では、種雄牛造成方針「飛驒牛の特徴形質に優れる藤良系種雄牛の造成」「花清 570 の 8 の後継種雄牛の造成」をもとに検定牛が選抜され、いずれも約 6 か月齢で検定牛として導入されました。

直接検定牛には導入から予備飼育期間(約 20 日間)を設け検定場所および検定飼料などの検定環境に馴致させ、その後(公社)全国和牛登録協会の定める 16 週間(112 日間)の直接検定を実施し、体重および体型の測定や飼料摂取量の調査を行うことで、発育能力、飼料利用性および種牛能力評価の基礎資料とします。年度当初から検定牛を随時導入しているため既に検定が終了している牛もありますが、全 9 頭の検定が終了するのは令和8年6月となります。最終的には「飛驒牛改良推進事業専門委員会」において、直接検定成績のほか産肉能力に関する育種価、精液性状等を考慮し、下記 9 頭から現場後代検定を実施する待機種雄牛3頭が選抜されます(令和8年6月予定)。

令和7年度 和牛種雄牛産肉能力直接検定牛

	No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9
検定牛	名号	花福5	千隆桜	雅43	光王	飛花光969の2	花安平	飛福平3の3	海斗	桐丸花清
	生年月日	R06.09.21	R06.10.13	R06.11.07	R06.12.31	R07.01.07	R07.05.16	R07.06.30	R07.07.10	R07.07.19
	登記記号番号	2024子美黒672	2024子飛黒2193	2024子受卵美黒194	2025子飛黒236	2025子受卵飛黒2	2025子飛黒1072	2025子受卵飛黒221	2025子飛黒1415	2025子飛黒1399
血統	父	福平国	花福桜	花福桜	花福桜	花清光	花清570の8	福平国	福平国	花清570の8
	2代祖	花福桜	福平国	百合茂	孝隆平	福平国	安俊晴	花福桜	神白幸	白清85の3
	3代祖	花清国	安晴王	安福久	花清国	白清85の3	福平国	白清85の3	白清85の3	羅威傳王
	4代祖	茂重安福(岐阜)	安平	金幸	羅威傳王	百合茂	白清85の3	第1花国	第6白雪	平茂勝
	5代祖	北国7の8	隆桜	神高福	白清85の3	金幸	平茂勝	平茂勝	糸北鶴	安福
	母	ふくまさ3	うちゅう	ゆりさ	みりゅう	ひふく816の4	しげとし	ひはふ849の4	ゆきひめ	きりこ
開始時日齢(日)		248	226	201	259	252	256	211	229	220
検定期間 (112日)	組	I	I	I	II	II	III	III	IV	IV
	開始	R07.05.27	R07.05.27	R07.05.27	R07.09.16	R07.09.16	R08.01.27	R08.01.27	R08.02.24	R08.02.24
終了	R07.09.16	R07.09.16	R07.09.16	R08.01.06	R08.01.06	R08.05.19	R08.05.19	R08.06.16	R08.06.16	
産地		関市上之保	高山市上野町	関市東志摩	高山市丹生川町	高山市清見町	高山市久々野町	高山市清見町	高山市高根町	高山市上宝町
備考		しあわせかめ系		ET	みさこ系	ET	育種 みさこ系	ET やすふく5系		育種 みさえ系

【酪農牛研究部】

「第29回 岐阜県ブラックアンドホワイトショウについて」

令和8年3月27日(金)に JA 全農岐阜「関家畜流通センター」で開催されます標記ショウに1頭出品します。

出品牛は当部がプロジェクト研究「暑熱耐性ホルスタインの生産に関する研究—胚ゲノム選抜による生産とAIを用いた評価—」で実施している課題により作出したホルスタイン種です。

この牛は暑熱耐性遺伝子(SLICK 遺伝子)を持ち、名号はニーナで第2部に出品予定です。今後は課題の中で様々なデータを収集し評価を行っていく予定です。

SLICK 遺伝子を持った牛がどのようなものか、まずは実際に見ていただきたいと思いますので、会場にお越しただけるとありがたいです。



出品予定牛 マウントヒル ハーモニー ソーラーP ニーナ SH ET

【養豚・養鶏牛研究部】

「種豚「ポーノブラウン」の改良・人工授精用精液の供給」

今年度新たに建設された大規模豚舎において、抗病性遺伝子マーカーを活用しながら、「ポーノブラウン改良推進事業」により効率的に種豚を選抜・増頭しています。

現在、計画どおりに約199頭(うち種雄豚 20 頭、種雌豚25頭、R8 年2月現在)まで増頭しました。種豚と人工授精用精液の販売先の農家数も着実に増えており、今年度の精液販売本数も 3,000 本(R6 実績 1,714 本)に迫る勢いとなっています。

最終的には約1,000頭規模まで増頭し、前述した手法に加えゲノム育種価を活用し、より高い能力をもつ個体を選抜し、当部で維持するとともに、県内養豚農家の皆様へ優良な生体種豚もしくは人工授精用精液により供給します。



岐阜県畜産研究所 ホームページ<http://www.livestock.rd.pref.gifu.lg.jp>

- 飛騨牛研究部
〒506-0101 高山市清見町牧ヶ洞 4393-1 Tel:0577-68-2226 Fax:0577-68-2227
- 酪農研究部
〒509-7601 恵那市山岡町久保原 1975-615 Tel:0573-56-2769 Fax:0573-56-2974
- 養豚・養鶏研究部
〒501-3924 関市迫間 2672-1 Tel:0575-22-3165 Fax:0575-22-3164